

5

291

2004年 5月号

THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

京都ウエストワイズメンズクラブ

BAMBOO

強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う

クラブ会長標語 プロジェクトW

会長 胡内順一 副会長 立山隆一 岩本敬子 書記 中原一晃 河合久美子
会計 高野忠男 寺井幸生

標語

国際会長 BeAgents of Change

~to meet the emerging challenge~

革命の担い手となろう~押し寄せる挑戦に応えるために

アジア会長 New Thinking New Action! ~新たな思想で新たな行動を

西日本区理事 Serve as a bridge for the future ~未来に架ける橋~

京都部部長 ワイズの森を大樹の森に~京都500を目指して

LT

「今や、恵みの時、今こそ、救いの日」

コリントの信徒への手紙二 六・二

技術立国？日本のものづくり

ファンド委員 市橋 清太郎



人気番組「プロジェクトX」
でよく日本の工業製品の開
発秘話などが題材にあげら
れることがある。私が町工
場で働いているから、興味
を持って見てしまうことが
多い。ドラマ仕立てで面白
く、感動されることが多
く、冷静になって振り返ると
気づくことがあった。「日本
発」とか「国産第一号」とか
いうものが多いということ
である。高度経済成長時代、
日本はアメリカに追いつき追
い越せで、優れたものを作
るうとしてきた。そこには完
成されたアメリカ製の「見
本」がありそれを「模倣・改
良」してきたのだ。その成
果で、

一昔前には日本製は世界一と
言われるようになった。そ
してバブル景気がやってきた。
それまで勤勉に働き続けて
きた日本人は「楽しんで儲け
る」ことに味をしめた。そ
して自分達が一番だと思い
込み、模倣するものが無
くなり、生産性をあげるこ
とばかりを追及したことで、
技術の発展のスピードを急
速にゆるめた結果、知らな
い間にアメリカやヨーロッパ
諸国に猛追をくらひ、中国
にはかつて日本がアメリカ
の後を追いかけたように、
追いつき追い越されようと
している。日本が再び元気に
なるには過去の栄光を忘れ、
再び謙虚な気持ちで世界一
を目指す技術力をつける為
に努力することが必要では
ないか。これは大企業だけ
のことではなく、我々のよ
うな零細工場こそが取り組
むべき姿勢であると思う。
今の時代、競争しなければ
ならない相手は、隣の工場
でも中国製の安物でもない
のである。

4月在籍者

会 員	月例会	95.7%	切手	0.Pt	第一例会	27,854 円
23名	メン 19名	(マイキャップ誌)	現金	0.Pt	0 円	(ネットファンド)
広義会員	ネット 1名				第二例会	
2名	コミット 0名	前月出席率	累計		13,500 円	
合 計	ゲスト 2名	修正	切手	0Pt	累計	ファンド
25名	計 22名	なし			159,739 円	年間合計
						1,023,606 円

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕